取扱説明書

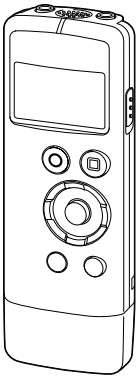
SANYO

保証書付

IC レコーダー
品番 ICR-B002RM

お買い上げいただきまして、ありがとうございました。
ご使用前に必ず本書をよくお読みください。お読みになった後は、すぐに見られる場所に保管してください。
この取扱説明書は「保証書付」です。「お買い上げ日」、「販売店」などが正しく記載されているか必ずご確認いただき、販売店からお受け取りください。

取扱説明書には色記号の表示を省略しています。梱包箱に表示している品番の（　　）内の記号が色記号です。

本機のご使用または故障により生じた損害、逸失利益、ご使用に要した第三者からのいかなる請求についても、当社は一切の責任を負いません。

ご愛用者登録について

ご愛用者登録およびアンケートのご記入を御願いいたします。
http://products.jp.sanyo.com/support/user/index.html

三洋電機株式会社
デジタルシステムカンパニー　国内販売担当
〒574-8534　大阪府大東市三洋町1番1号
URL: http://jp.sanyo.com/icr/

(JP0)　1AJ6P1P0099--

目次

修理メモ

① 保証書とアフターサービス

保証書について
- この商品には保証書がついています。お買い上げの際、販売店が発行します。
- 所定事項の記入をご確認のうえ内容をよくお読みになって、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より本体のみ 1 年間です。

アフターサービスについて

調子が悪いときはまずチェックを
この説明書の「困ったときは」をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ
お買い上げ店か、または「お客さまご相談窓口」にご相談ください。
お問い合わせの際、電池を入れるところの内側に貼ってあるラベルに書かれた製造番号（シリアルナンバー）をお知らせください。

保証期間中の修理は
保証書の規定に従い、お買い上げの販売店が修理させていただきます。製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間経過後の修理は
修理により機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。

部品の保有期間について
IC レコーダーの補修用性能部品 (製品の機能を維持するために必要な部品) の保有期間は、製造打ち切り後 6 年間です。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店または「お客さまご相談窓口」にご相談ください。

無料修理規定

お買い上げの日から保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルその他の注意書きに従った使用状態で故障した場合には、本書記載内容にもとづき、お買い上げの販売店が無料修理いたしますので、商品と本書をご持参ご提示ください。

1. 保証期間でも次のような場合には有料修理となります。
   イ. 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
   ロ. お買い上げ後の取付場所の移動、落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
   ハ. 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障または損傷。
   ニ. 業務用としての使用、車両・船舶への搭載など一般家庭以外に使用された場合の故障または損傷。
   ホ. 本書の提示がない場合。
   ヘ. 本書にお買い上げ年月日、お客さま名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
   ト. 消耗品の交換・仕様変更など。
2. 保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料や出張修理をおこなった場合の出張料はお客さまの負担となります。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. ご贈答品等で本書に記入の販売店に修理をご依頼になれない場合には、「お客さまご相談窓口」をご覧のうえ、もよりの窓口にお問い合わせください。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   Effective only in Japan.
6. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客さまの法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明な場合は、お買い上げの販売店または「お客さまご相談窓口」にお問い合わせください。

- **保証期間経過後の修理または補修用性能部品の保有期間について詳しくは「① 保証書とアフターサービス」をご覧ください。**

② お客さまご相談窓口

まずはお買い上げ販売店へ

家電製品の修理のご依頼やご相談は、お買い上げ販売店へお申し出ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は

下記の相談窓口にお問い合わせください。
総合相談窓口：家電製品についての全般的なご相談
修理相談窓口：修理サービスについてのご相談

総合相談窓口（全般的なご相談）
三洋電機（株）お客さまセンター

相談受付時間　9:00 ～ 18:30（365 日）
☎ 050-3116-3434

※上記番号をご利用できない場合は　**大阪 (06)6994-9570**　におかけください。
※ 郵便・FAX でご相談される場合

三洋電機 (株)　お客さまセンター
FAX　(06)6994-9510
〒 570-8677　大阪府守口市京阪本通 2-5-5

家電商品の修理サービスについてのご相談<三洋電機サービス株式会社>

受付時間　月曜日～金曜日　[9:00 ～ 18:30]
（7 月～ 8 月は [8:45 ～ 19:30]）
土曜・日曜・祝日・当社休日　[9:00 ～ 17:30]

東京コールセンター
（050- がご利用できない場合は、東京 03-5302-3401 へおかけください）

地区	電話番号
北海道地区	050-3116-2333
東北地区	050-3116-2444
関東・甲信越地区	050-3116-2222

大阪コールセンター
（050- がご利用できない場合は、大阪 06-4250-8400 へおかけください）

地区	電話番号
近畿地区	050-3116-2555

地区		電話番号
中部・北陸地区	北陸	050-3116-2555
	中部	050-3116-2666　沼津地区は050-3116-2222
中国・四国地区	中国	050-3116-2777
	四国	050-3116-2555
九州地区		050-3116-2888

地区	電話番号
沖縄地区※	098-944-5018

※受付時間：月曜日～土曜日 9:00 ～ 17:30
（日曜、祝日及び当社休日を除く）
■上記のご相談窓口の名称、電話番号は変更することがありますので、ご了承ください。

お客さまご相談窓口における　お客さまの個人情報のお取り扱いについて

お客さまご相談窓口でお受けした、お客さまのお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理致します。また、お客さまの同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示はおこないません。

<利用目的>
- お客さまご相談窓口でお受けした個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問合わせおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のために三洋電機（株）および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

<業務委託の場合>
- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせるとともに、適切な管理・監督をいたします。

個人情報のお取り扱いについての詳細は、ホームページ http://jp.sanyo.comをご覧ください。

持込み修理および部品についてのご相談<三洋電機サービス株式会社>

受付時間　月曜日～土曜日 9:00 ～ 17:30
（日曜、祝日及び当社休日を除く。一部、土曜日も休日のサービス拠点があります。）
ご相談は、各地区サービス拠点で承っております。最寄の拠点は弊社ホームページでご確認ください。
http://jp.sanyo.com

（110610U）

③ 安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

安全のため必ずお守りください。

■絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示の例

△	「注意 (警告を含む) をうながす事項」を示します。
⃠	「してはいけない行為 (禁止事項)」を示します。

本体について

⚠警告

■分解・改造しない
（分解禁止）本機を分解、改造しないでください。
火災、感電の原因となります。内部の点検および修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

■運転中は使用しない
（禁止）自動車、オートバイ、自転車などの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因になります。
また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に十分ご注意ください。

■内部に水や異物を入れない、また風呂やシャワー室で使用しない
（水場禁止）水や異物が入ると火災や感電の原因になります。
万一、水や異物が入ったときは、電池を抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。

■大音量で長時間続けて聞きすぎない
（禁止）ヘッドホンやイヤホンで聞くときに耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがありますのでご注意ください。
また、突然大きな音がでて耳を痛めることがありますのでボリュームは徐々に上げるようご注意ください。

■極端な温度条件のもとでは使用しない
（禁止）結露などによる火災や感電の原因になります。
温度が 5℃未満、または 35℃を超える場所では使用しないでください。
湿気の多い場所で使用しないでください。身に付けている場合は、汗による湿気で故障の原因となることがあります。
水ぬれや湿気で故障と判明した場合は、保証の対象外となり無料修理はできません。

■置き場所に注意
（禁止）湿気、ほこりの多い場所や、油煙、湯気が当たる場所に置かないでください。
火災、感電の原因となることがあります。
また、窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など温度が高くなる場所に放置しないでください。火災、故障の原因となることがあります。

⚠注意

■電磁波の強い場所では使用しない
（禁止）高圧ケーブルや携帯電話など、電磁波の強い場所や機器の近くでのメッセージ録音はノイズが入りますので避けてください。

■磁気の発生や影響する場所に近づけない
（注意）磁気の発生する機器の近くに本機を置かないでください。また、本機を磁気カード類とも一緒にしないでください。磁気データが壊れて使用できなくなることがあります。

電池について

	安全上のご注意 （下の内容は、⚠の印がある電池に該当します）	電池の種類と危険の度合い アルカリ乾電池
注意	**■ 液漏れ、変色、変形、外傷、変なにおいなどに気付いたときは、すぐに取り出して使用を中止し、火気から遠ざける** ● 異常状態のまま使用を続けると、発火、破裂、電解液の噴出、発煙の原因となります。 ● 液漏れしている場合は、火気に近づけると電池の電解液に引火し、発火、破裂、電解液の噴出、発煙の原因となります。	⚠危険
分解禁止	**■ 変形・分解・改造しない** 変形、分解、電池に直接ハンダづけするなどの改造をすると、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れの原因となります。	⚠警告
禁止	**■ プラスとマイナスを針金などの金属で接続したり、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しない** ショート状態になり、過大な電流が流れ、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れ、発熱の原因となります。また、針金やネックレスなどの金属が発熱する原因となります。	⚠警告
禁止	**■ 火中に投入したり、加熱しない** 絶縁物が溶けたり、安全機構を損傷したり、電解液に引火したりするため、発火や破裂の原因となります。	⚠警告
禁止	**■ 外装をはがしたり、傷つけたりしない** 外装をはがす、釘を刺す、ハンマーで叩く、踏みつけるなどをすると電池内部でショート状態となり、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れ、発熱の原因となります。	⚠警告
注意	**■ 指示通りに入れる** ● 極性（プラスとマイナス）に注意し、表示通りに入れてください。 ● 万一極性を逆に入れた場合、使用時に異常な電流が流れて、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れ、発熱の原因となります。	⚠警告
禁止	**■ 使用しているときに電池を抜かない** 本機を使用しているときには電池を抜かないでください。データが壊れたり、故障の原因となります。	⚠警告
注意	**■ 録音や、録音内容を消去するときは、残量を確認する** ● 録音中に電池残量表示の目盛りがなくなったときは、すぐに録音をやめて、新しい電池に交換してください。 ● 消去の途中で電池切れになると、録音内容は消去できません。	⚠注意
禁止	**■ 長時間入れたままにしない** ● 本機を長時間（1 週間程度）使用しないときは電池を取り出して、涼しい場所で保管してください。	⚠警告
注意	**■ 廃棄について** ● 電池を捨てるときは、地域の条例に従って処分してください。	⚠注意

- **録音中に電池残量表示の目盛りがなくなったら**
  すぐに録音をやめて、新しい電池に交換してください。

- **電池が液漏れしたとき**
  液が本体内部に残ることがありますので、当社のお客さまご相談窓口にご相談ください。液が目に入ったときは、失明の原因になりますので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分に洗い、ただちに医師に相談してください。液が身体や衣服についたときも、やけどなどの原因になりますので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症などの症状がでたときには、医師に相談してください。

- **電波障害について**
  この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に接近して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
  VCCI-B

- **著作権について**
  放送や MD、CD、レコード、その他の録音物の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
  あなたが録音したものは個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。実演や興行の中には、個人として楽しむ目的であっても録音を制限している場合がありますので、ご注意ください。

■お手入れについて
柔らかい布でふいてください。汚れがひどいときは、柔らかい布でからぶきをしてください。
- ベンジンやアルコール、シンナーなどでふいたりすると、変質や変色することがありますので、使用しないでください。また、殺虫剤もかからないようにご注意ください。

■温度上昇について
本機を長時間お使いになると、本体の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。

■時計表示について
本機の時計表示は、長い期間使用していると誤差が生じる場合があります。定期的に日時設定をされることをおすすめします。
また、タイマー予約録音をする前には、時報などで正確な時刻を設定してください。

必ずお読みください

■本機の使用中、万一何らかの不具合により、録音の失敗および録音内容 (データ) の損失を防ぐために
1. 録音前には必ず試し録音をしてください。
2. 録音データを他の機器にバックアップしてください。
3. 電池の残量が充分にある電池をお使いください。
本機の不具合によるデータ損失や機会損失などの補償につきましては、当社では責任を負いません。また、修理でのデータ消失を伴う事項が発生しても、補償については当社では責任を負いません。あらかじめご了承ください。

本機およびパソコンの不具合により、転送やダウンロードができなかった場合、またはファイルが破損、消失された場合、ファイル内容の補償はいたしません。

商標および登録商標についての注意

- Microsoft、Windows Media™ および Window® ロゴは米国およびその他の国における米国 Microsoft Corporation の商標または登録商標です。
- Windows Media™ Player は Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

※ 本書は製品開発に先がけて印刷されており、その後性能改善や操作性向上のため製品仕様の一部が変更となることがあります。その場合は製品自体の仕様が優先されます。

④ 仕様

録音モードと録音可能時間:
- HQモード（モノラル）：約22時間30分
- HQLPモード（モノラル）：約68時間
- LPモード（モノラル）：約136時間

対応OS：Windows 7/Vista/XP
内蔵メモリ：2GB
周波数特性：150～20,000Hz（HQモード　192kbps時）
150～9,000Hz（HQLPモード　64kbps時）
150～6,700Hz（LPモード　32kbps時）
録音フォーマット：MP3
再生フォーマット：MP3
サンプリング周波数：16～44.1kHz
※ファイルによっては正常に再生できない場合があります。
入出力端子：USB
ヘッドホン端子（モノラル）3.5ϕミニ（インピーダンス8Ω以上）*1
マイク端子（モノラル）3.5ϕミニ（インピーダンス2kΩ）*2
動作温度：+5℃～+35℃
定格出力：（ヘッドホン）6mW+6mW（16Ω負荷時、JEITA/DC）
：（スピーカー）80mW（8Ω負荷時、JEITA/DC）
電源：単4形アルカリ乾電池×1
電池持続時間
・連続録音時間
- HQモード：約19時間（アルカリ乾電池）
- HQLPモード：約31時間（アルカリ乾電池）
- LPモード：約35時間（アルカリ乾電池）
※録音環境　録音LED：OFF

・連続再生時間（ヘッドホン再生）
- HQモード：約25時間（アルカリ乾電池）
- HQLPモード：約40時間（アルカリ乾電池）
- LPモード：約45時間（アルカリ乾電池）

・連続再生時間（スピーカー再生）
- HQモード：約21時間（アルカリ乾電池）
- HQLPモード：約27時間（アルカリ乾電池）
- LPモード：約32時間（アルカリ乾電池）

※連続録音再生時間は、電池の種類、メーカー、保管状態、使用条件、使用周囲温度などによって変わります。上記の時間はあくまで目安であり、保証するものではありません。
※アルカリ乾電池以外での動作保証はいたしません。

最大外形寸法：約 幅37×高さ107×奥行き15（mm）
質量：約50g（電池含む）
付属品：単4形アルカリ乾電池　(1)
：本書（保証書付）　(1)

別売品のご紹介　USBケーブル（延長用）品番 KA-USBC1

*1　ヘッドホンを差し込むと本機スピーカーからの音は出ません。また、本機はモノラル録音のため、ステレオで再生できません。
*2　外部マイクを使用される場合は下記仕様をおすすめします。（保証値ではありません）
- 形式：プラグインパワー方式
- プラグ：ミニプラグ（3.5 Φ）

プラグインパワー方式とは、ICレコーダー本体から電源を供給する方式です。
推奨仕様以外の外部マイクを使用された場合は、録音感度が低いなど、うまく録音できないことがあります。
モノラルマイクを推奨します。ステレオマイクではRチャンネルは録音されません。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

⑤ パソコン動作条件

本機は以下のパソコン環境で動作します。

項目	条件
対応機種	Windows 標準搭載パソコン
対応 OS（日本語版）	Windows 7、Windows Vista、Windows XP
USB 端子	本製品接続時に 1 つ必要
その他	スピーカーまたはヘッドホンが必要 サウンド再生機能を搭載のパソコン

* パソコンで作成した MP3 ファイルを本機に転送しても再生できません。
* Macintosh など Windows を搭載していないパソコンでは動作保証いたしません。
* 動作環境を満たしていても、自作パソコン、OS をアップデートしたもの、デュアルブート環境では動作保証いたしません。
* Windows Vista、XP については、64bit 版の OS は動作保証いたしません。
* 推奨環境すべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
* ご利用の環境によっては、スタンバイ、サスペンドなどのモードが正常に動作しない場合があります。その場合は、本機使用時にはそれらのモードを使用しないでください。
* Windows 7/Vista/XP をお使いの場合、管理者権限（Administrators）のユーザにてご使用ください。
* Windows 2000 以降の「ダイナミック ディスク」には動作保証していません。

■ Windows Media Player について

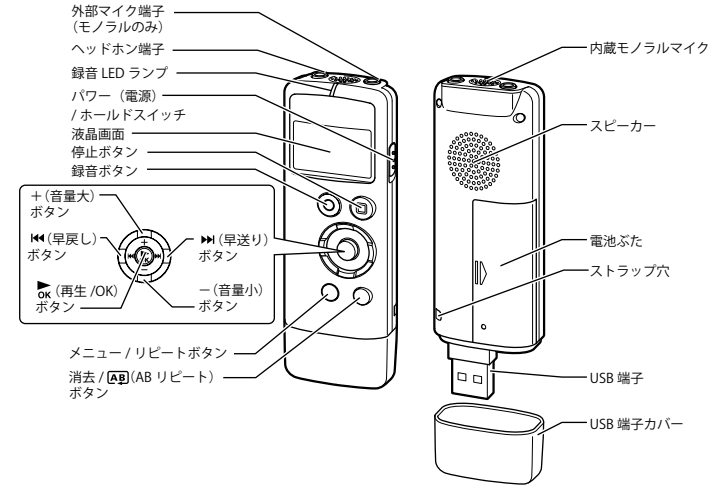
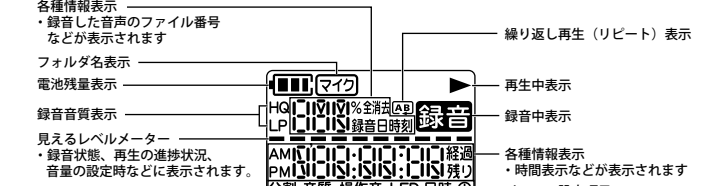
お使いの OS に対応した、以下のいずれかの Windows Media Player をお使いください。

Windows Media Player	対応OS
Windows Media Player 12	Windows 7
Windows Media Player 11	Windows Vista / Windows XP

※ 上記以外の Windows Media Player での動作保証はいたしません。
※ 上記は 2010 年 9 月現在での動作環境です。
最新の Windows Media Player は、以下の URL から入手してください。
http://www.microsoft.com/japan/windows/windowsmedia/download/default.aspx

⑥ 各部の名称

本体

外部マイク端子（モノラルのみ）
ヘッドホン端子
録音 LED ランプ
パワー（電源）/ ホールドスイッチ
液晶画面
停止ボタン
録音ボタン
＋（音量大）ボタン
⏮（早戻し）ボタン
⏭（早送り）ボタン
▶OK（再生 /OK）ボタン
－（音量小）ボタン
メニュー / リピートボタン
消去 / AB（AB リピート）ボタン
内蔵モノラルマイク
スピーカー
電池ぶた
ストラップ穴
USB 端子
USB 端子カバー

液晶画面の表示

⑦ 電池を入れる

電池を交換するときは、必ず電源を切ってください。電源が入ったまま電池を出し入れすると、故障やデータ破損のおそれがあります。

1 電池ぶたの▶の部分を軽く押さえながら矢印の方向にスライドさせ、上方に開ける（①）

2 単 4 形アルカリ乾電池を入れる（②）
- 電池の＋、－の向きに注意して入れてください。

3 電池ぶたを閉じる

⑧ 電源を入れる / 切る

電源を入れる

本機側面のパワー（電源）/ ホールドスイッチを「入」側に動かす
画面に「V1.00（バージョン情報）」→「HELLO」と表示された後、操作画面が表示されます。
- お買い上げ後、初めて電源を入れたときや電池交換したときは、日時設定画面が表示されますので日時の設定を行なってください。

電源を切る

本機側面のパワー（電源）/ ホールドスイッチを「切」側に動かす
画面に「- bYE -」と表示され、電源が切れます。

電池の残量表示について

電池の残量は、画面で確認することができます。
▭ が表示された場合は、早めに新しい電池に交換してください。

残量多い ⟷ 残量少ない

- 電池が切れると、「Lo bAT」と表示された後、自動で電源が切れます。
- 周囲の温度や使用状態などにより、電池の持続時間が変わるため、残量表示はおよその目安と考えてください。
- 一度電池切れになったアルカリ乾電池は、続けて使用しないでください。

> - 使用済みの電池は、各地方自治体の定める条例に従って廃棄してください。
> - **電池残量がほとんど無い場合でも電源を入れ直すと、実際の残量よりも多く表示されることがあります。この状態で録音や予約録音をすると、録音の途中で電池が切れて録音が中断されることがありますので、ご注意ください。**

オートパワーオフ機能

電源を入れて停止状態のまま 30 分間放置すると、自動で電源が切れます。
電源を入れ直すには、パワー（電源）／ホールドスイッチを「切」にしてからもう一度「入」にします。

レジューム機能

電源が切れる前に選択していた録音ファイル、再生位置状態を記憶し、次回電源を入れたときに前回電源を切ったときの状態で起動する機能です。
ただし、パソコンに接続した際は、記憶がリセットされるため、レジューム機能は働かなくなります。

⑨ 誤操作を防止する（ホールド機能）

本機をカバンやポケットに入れて使う際に、接触して起こるボタンやスイッチなどの誤動作を防ぎます。また、それら誤動作による電池の消耗を防ぎます。

再生中や録音中にパワー（電源）/ ホールドスイッチを「切」（ホールド）側にスライドする
「On HOLd」が表示されてボタン操作ができなくなります。

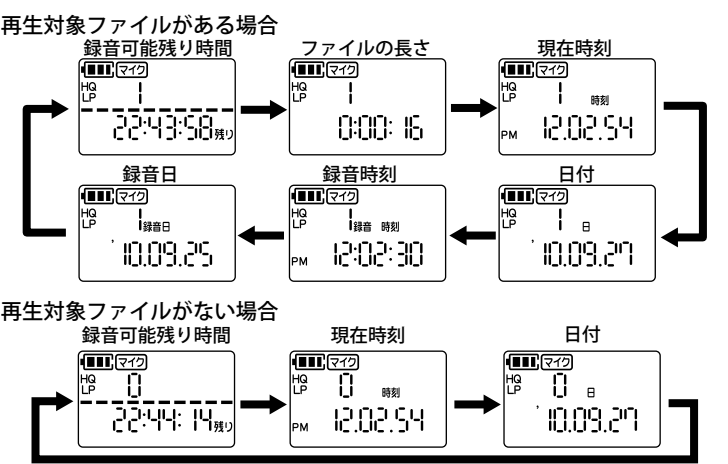
解除するときはパワー（電源）/ ホールドスイッチを「入」側にスライドする
「OFF HOLd」が表示されてホールド機能が解除されます。
- ホールド機能が On の状態で、録音や再生が終了すると自動的に電源が切れます。

⑩ ファイルの情報を確認する

停止中に停止ボタン（□）を押すと、ファイルの情報が確認できます。選択しているフォルダによって表示される情報が異なります。

再生対象ファイルがある場合

再生対象ファイルがない場合

録音可能残り時間 → 現在時刻 → 日付

⑪ 日時を設定する

日付と時刻を設定しておくと、録音時に「録音した日付と時刻」の情報がファイルに自動で記録されます（タイムスタンプ機能）。また、パソコンで表示されるファイル名に録音日時の情報が入りますので、正確に日時設定しておくことをおすすめします。

1 電源を入れ、メニューボタンを押す
- 電池を交換したときは、必ず日時設定が必要です。
- お買い上げ後、初めて電源を入れた場合や電池を交換した場合は、日時設定の画面が表示されるので、メニューボタンを押す必要はありません。手順3へ進んでください。

2 ⏮ / ⏭ボタンを押して［日時］を選択し、▶OKボタンを押す

3 ＋ / －ボタンを押して［YY（年）］を設定し、⏭ボタンを押す
ここでは、2010 年 9 月 25 日 PM5 時 30 分に設定します。
- 西暦の下 2 桁に設定してください。（2010 年なら「10」）

4 手順 3 と同じ操作で、［MM（月）］と［dd（日）］を設定する
日を設定して⏭ボタンを押すと、［24H（24 時間表示）］と［12H（12 時間表示）］が表示されます。
- 前の設定項目に戻るには、⏮ボタンを押します。

5 ＋ / －ボタンを押して時間の表示方法を選び、⏭ボタンを押す
- 点滅している方が、現在、選択している表示方法です。

6 手順 3 と同じ操作で、［HH（時）］と［MM（分）］を設定し、▶OKボタンを押す
これで日時の設定は完了です。

- 長時間使用して時刻がずれたときは、設定し直してください。
- 電池を交換したときは、必ず日時の再設定を行なってください。

⑫ 録音する

マイク録音する

内蔵モノラルマイクで録音します。
- 録音する状況に応じて「マイク感度」、「音質」の設定を変更してください。（「⑬ メニューについて」を参照）
- お買い上げ時、マイク感度は HI、音質は HQLP（64kbps）に設定されています。

1 録音ボタン（○）を押す
録音を開始します。
- 録音中に再度録音ボタン（○）を押すと、表示が点滅し一時停止になります。もう一度押すと、録音が再開されます。また、一時停止のまま約 30 分放置すると、録音を終了し、本機の電源が切れます。
- 録音中にメニューボタンを押すと、録音残時間表示と録音経過時間表示が切り換わります。

入力レベルメーター / 録音しているファイル番号 / 録音残時間

2 停止ボタン（□）を押す
録音を終了します。

- 録音できるファイル数は、最大 199 です。

外部マイクを使用する

外部マイクを使用して録音するときは、事前に本機のマイク端子に外部マイクを接続してください。（使用できるマイクは「④ 仕様」の「入出力端子」を参照）

⑬ メニューについて

操作のしかた（音質設定の例）

メニュー画面で本機の設定を変更したり、本機の機能を使うことができます。

1 本機の電源を入れ、停止中にメニュー / リピートボタンを押す

2 ⏮ / ⏭ボタンを押して、設定したいメニュー項目を選択する
選択中の項目が点滅します。

3 ＋ / －ボタンを押して、設定内容を選択する
点滅している方が、現在、選択されている設定です。

4 ▶OKボタンを押す
これで設定は完了です。
⏮ / ⏭ボタンを押すと設定を確定し、次のメニュー項目を続けて設定することができます。

メニュー一覧

メニュー項目	設定内容
マイク	マイク感度を設定します。 録音レベルが大きすぎるときは LO に、小さすぎる場合は HI に、録音する前にあらかじめ設定を変更しておいてください。 HI: **マイク感度を高感度に設定します** LO: マイク感度を低感度に設定します
分割	録音したファイルを停止位置で分割します YES：選択中のファイルを停止位置で分割します NO：**ファイル分割を取りやめます**
音質	録音音質を設定します。 HQ：高音質モード（192kbps、モノラル） HQ LP：**標準音質モード（64kbps、モノラル）** LP：長時間モード（32kbps、モノラル）
操作音	操作時に音を鳴らす / 鳴らさないの設定をします。 OFF：ボタン操作時に音を鳴らしません bEEP：ボタン操作時にビープ音を鳴らします VOICE：**操作時に音声ガイドとビープ音を鳴らします**
LED	録音中に、録音 LED ランプを点灯させる / させないの設定をします。 OFF：録音 LED ランプを点灯させません On：**録音 LED ランプを点灯させます**
日時	日時を設定します。 「⑪ 日時を設定する」を参照
◷	タイマー録音の設定をします。 「⑮ 決まった時間に録音する（タイマー）」を参照

※ 設定内容の**太字**はお買い上げ時（工場出荷時）の設定です。

⑭ 再生する

録音したファイルを再生します。

ファイルを再生する

1 ⏮ / ⏭ボタンを押して、再生したいファイルの番号を選択する

2 ▶OKボタンを押す
手順 1 で選択したファイルが再生されます。

3 停止ボタン（□）を押す
再生を停止します。
- ファイルの途中で再生を停止し、再び ▶OK ボタンを押すと、停止した位置から再生が再開されます。

ファイル番号 / 再生中表示 / 再生の進捗状況

再生中の操作

■ 音量の調整

＋（音量大）/ －（音量小）ボタンを押して調整します。
音量（VOL）は、0 ～ 20 の範囲で設定できます。
- 録音状況や音源によって最適な音量が異なります。音量は大きくしすぎないよう、少しずつ上げてください。

■ 早送り

再生中に⏭ボタンを 1 秒以上押し続けると、早送りが始まります。
早送り開始後は、指を離しても早送りは継続されます。
通常の再生速度に戻すには▶OKボタンを押します。

■ 早戻し

再生中に⏮ボタンを 1 秒以上押し続けると、早戻しが始まります。
早戻し開始後は、指を離しても早戻しは継続されます。
通常の再生速度に戻すには▶OKボタンを押します。

■ ファイル送り

⏭ボタンを押すと、次の録音ファイルの先頭に移動します。

■ ファイル戻し

⏮ボタンを押すと、再生中の録音ファイルの先頭に移動します。
続けて⏮ボタンを押すと、一つ前の録音ファイルの先頭に移動します。

再生スピードを変更する（早聞き / 遅聞き）

再生中のファイルの再生スピードを変更します。

1 再生中に▶OKボタンを押す

2 ⏮ / ⏭ボタンを押して再生スピードを調整する
- ⏭ボタンを押すと、110%～ 200%の範囲で 10%ごとに調整できます。数値を大きくすると速くなります。
- ⏮ボタンを押すと、50%～ 95%の範囲で 5%ごとに調整できます。数値を小さくすると遅くなります。
- ファイルによっては、正常に再生できないことがあります。
- ▶OKボタンを押すと設定値が確定し、停止ボタン（□）を押すと 100%に戻ります。

指定位置から再生する（時間指定サーチ）

再生の開始位置（開始時間）を指定できます。

1 再生中にメニューボタンを押す
再生が停止され、現在の再生位置（時間）が表示されます。

2 指定時間を設定する
① ⏮ / ⏭ボタンを押して、「時」「分」「秒」を選択する
② ＋/－ボタンを押して、数値を変更する

3 ▶OKボタンを押す
指定した場所から再生が始まります。
- この設定は再生中のファイルに対してのみ有効です。また、設定内容は保存されません。
- メニューボタンまたは停止ボタン（□）を押すと、設定をキャンセルして再生に戻ります。

リピート再生する（繰り返し再生）

1 つのファイルを繰り返し再生したり、全ファイルを繰り返し再生したりすることができます。

再生中にメニュー / リピートボタンを 2 秒以上押す
ボタンを 2 秒以上押すごとにリピートモードが切り換わります。
- ⮌ ： 選択している 1 つのファイルだけを繰り返し再生します。
- 全 ⮌ ： 全ファイルを繰り返し再生します。
- 表示無し： 通常の再生です。最終ファイルの再生終了後は停止状態になります。

2 点間を繰り返し再生する（A-B リピート）

再生中のファイルの 2 点間を繰り返し再生します。

1 再生中に繰り返しの開始位置で消去 / ABボタンを 1 回押す
「A」が点滅します。

2 繰り返しの終了位置でもう一度消去 / ABボタンを 1 回押す
「AB」が表示され、設定した 2 点間が繰り返し再生されます。
- 解除するときは、もう一度消去 / AB ボタンを押します。

⑮ 決まった時間に録音する（タイマー）

指定した時刻に自動的に録音することができます。

1 停止中にメニュー / リピートボタンを押す

2 ⏮ / ⏭ボタンを押して［◷］を選択し、▶OKボタンを押す

3 ＋ / －ボタンを押して録音時間を選択し、⏭ボタンを押す
- 30M ：30 分
- 1H ：1 時間
- 2H ：2 時間
- ALL ：空き容量一杯まで
- OFF ：タイマー設定を無効にします
- 「OFF」を選択すると、タイマー設定は無効になります。

4 ＋ / －ボタンを押して録音を開始する時間の「時」を指定し、⏭ボタンを押す

5 ＋ / －ボタンを押して録音を開始する「分」を指定し、▶OK ボタンを押す
画面右下に「 ◷ 」が表示されたら、設定は完了です。

指定時刻の 1 分前に自動で電源が入り、タイマー録音の待機状態になります。このとき、「録音」と「◷」が点滅し、レベルメーターが 6 秒ごとに 1 目盛ずつ消えていきます。

録音が始まって設定した時間が経過すると、録音を自動的に停止します。

- 次の場合は、タイマー録音はできません：本体をパソコンに接続中の場合、録音ファイル数が一杯の場合、内蔵メモリの空き容量がない場合、録音中の場合。
- 再生中であっても、タイマー録音時間になると再生を停止し録音を開始します。

⑯ 録音したファイルを分割する

ファイルを途中で区切って分割できます。ファイルを必要な部分と不要な部分に分けたいときなどに便利です。ファイル分割するには、空き容量が必要です。

1 分割したいファイルを再生する

2 分割したいところで停止ボタン（□）を押して、再生を停止する

3 メニュー / リピートボタンを押し、⏮ / ⏭ボタンを押して［分割］を選択する
「**分割**」が点滅します。

4 ＋ / －ボタンを押してを押して［YES］を選択し、▶OK ボタンを押す
「Ok」と表示されたら、ファイル分割の完了です。

ファイル分割のしくみと分割後のパソコンで表示されるファイル名の付き方

001M_100925_1631.MP3 のファイルを分割すると、002M_100925_1631.MP3 のファイルが作成されます。ただし、フォルダ内に同じファイル番号のファイルが存在する場合は、分割後のファイルが優先され、もともとあったファイルのファイル番号が変更になります。例えば、ファイル名 001M_100925_1631.MP3 を分割すると 001M_100925_1631.MP3 と 002M_100925_1631.MP3 が作成され、フォルダ内に先に存在していた 002M_100926.1210.MP3 は 003M_100926.1210.MP3 にファイル番号が変更されます。
- ファイル分割した際、指定した場所から前後にずれが生じる場合があります。
- 次の場合はファイルを分割できません。
  - 内蔵メモリの容量不足
  - ファイル数が最大
  - ファイルの先頭で分割しようとしたとき

録音モード		分割に必要なファイルの録音時間
MP3	LP	約 16 秒以上
	HQLP	約 8 秒以上
	HQ	約 2 秒以上

⑰ 消去する / フォーマット

不要なファイルを消去します。
消去方法は 3 種類あります。
- FILE ： ファイルを 1 つだけ選んで消去します。
- FOLdER ： マイクフォルダ内の全ファイルを消去します。
- ALL ERASE： 内蔵メモリ内のマイクフォルダおよびパソコン接続時に表示される DATA フォルダ内のデータなど全てのデータを消去します。（フォーマット）

> - **消去したファイルは元に戻せません。消去する前に不要なファイルかどうか必ず確認してください。**
> - この操作を行う前に、電池の残量が充分にあることを確認してください。
> - ファイル消去（FILE）では、本機で再生可能なファイルのみ消去できます。
> - ファイル消去、フォルダ消去の場合、ファイル属性が " 読み取り専用 " のファイルを消去しようとすると、ERROR" が表示され、削除できません。その場合は本機をパソコンに接続して、パソコン上で削除してください。
> - フォルダ消去（FOLdER）では、本機で再生可能なファイルが入ったフォルダ（マイクフォルダ）内のファイルのみ消去できます。
> - ALL ERASE を行なうと、内蔵メモリ内に保存されているすべてのデータ（DATA フォルダ内のデータなど）が消去されます。

1 ⏮ / ⏭ボタンを押して消去したいファイル番号を選択する
消去方法を「FOLdER」や「ALL ERASE」にする場合は、この操作は必要ありません。

2 消去 / ABボタンを押す
- 以降の操作を途中で止めるときは、もう一度**消去** / AB ボタンまたは停止ボタン（□）を押します。

3 ⏮ / ⏭ボタンを押して消去方法を選択し、▶OKボタンを押す
「FILE」、「FOLdER」、「ALL ERASE」の 3 種類から選びます。
ここでは、FILEを選びます。
- ファイルを 1 つだけ消去したいときに、誤って「FOLdER」や「ALL ERASE」を選択しないよう、よく確認してください。

4 ⏮ / ⏭ボタンを押して［YES］を選択し、▶OKボタンを押す
- 「NO」を選ぶと、手順 3 に戻ります。

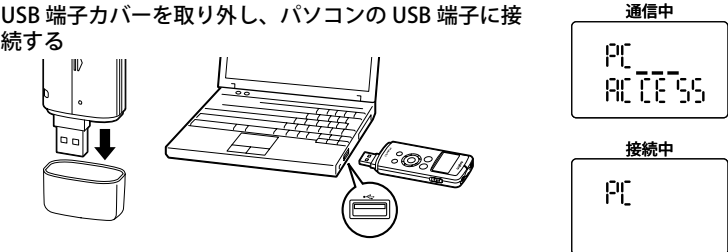
「ERASE」と表示された後で「Ok」と表示されたら、消去は完了です。
- フォルダ消去は、フォルダの中のファイルを消去しますが、フォルダは削除できません。

⑱ パソコンで使用する

本書の説明で使用する画面は、Windows XP となります。
その他のバージョンの OS をお使いの場合は、当社サポート HP をご覧ください。
http://jp.sanyo.com/icr/support/

パソコンに接続する

USB 端子カバーを取り外し、パソコンの USB 端子に接続する

通信中 / 接続中

- 端子は差し込む向きが決まっています。向きに注意して差し込んでください。
- 通信中は本機をパソコンから抜かないでください。
- パソコンとの接続時は、本機に電池がなくても動作します。
- 接続画面表示中は、本機のどのボタンやスイッチを押しても動作しません。

■ 初めて本機をパソコンに接続したとき

図のようなメッセージが複数回表示されるので、メッセージが消えるまでは本機を取り外さないでください。

■自動再生画面について

自動再生画面が表示された場合は、「フォルダを開いてファイルを表示する」を選択して「OK」をクリックすると、本機のフォルダが表示されます。
また、自動再生画面で実行する動作の種類や表記は、お使いのパソコン環境によって変わります。

パソコンで見る本機のフォルダ / ファイルについて

1 本機をパソコンに接続する

2 ［スタート］-［マイコンピュータ］の順にクリックする

3 ［B002］アイコンをダブルクリックする
本機のフォルダが表示されます。
- DATA フォルダにはパソコンのデータを入れて、他のパソコンにデータを移動することができます。本機ではこのフォルダは見ることができません。

■ パソコンで表示されるファイル名について

本機で録音した MP3 のファイル名をパソコンで変更すると、マイクフォルダで再生できなくなります。
パソコンから保存したファイルを本機に戻すときは、ファイル名規則に従ったファイル名になっていることを確認してください。

ファイル名規則

001M_100925_1935.MP3

① ファイル番号 ② フォルダ名（マイク） ③ 録音年月日 ④ 録音時分 ⑤ ファイルの拡張子

本機のファイルをパソコンにコピーする

1 本機をパソコンに接続して、［B002］を開く

2 MIC フォルダをダブルクリックして開く

3 コピーしたいファイルを右クリックし、表示されたメニューの［コピー］をクリックする

4 ファイルを保存したいフォルダを開く
ここでは、パソコンの［マイ ドキュメント］フォルダにファイルを保存する場合を例に説明します。

5 フォルダのウィンドウで、［編集］-［貼り付け］の順にクリックする
ファイルがコピーされます。フォルダに同じ名前のファイルができたらコピーは完了です。
- ファイルのコピー中は、絶対に本機をパソコンから抜かないでください。

6 本機をパソコンから取り外す

パソコンから取り外す

1 パソコンの画面のタスクトレイに表示されている をクリックする

2 「USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブを安全に取り外します」というメッセージが表示されたら、これをクリックする

3 図のメッセージが表示されたら、本機をパソコンから取り外す

ファイルを CD-R/RW にコピーする

本機からパソコンにコピーしたファイルを、Windows Media Player を使って CD-R/RW にコピーします。録音したファイルを長期間保存したい場合などに使用します。
- CD-R/RW へのコピー中はパソコンで他の操作をしないでください。ノイズ混入の原因となります。

1 本機のファイルをパソコンにコピーする

2 ［スタート］-［すべてのプログラム］-［Windows Media Player］の順にクリックする
Windows Media Player が起動します。

3 ［書き込み］をクリックする

4 ［書き込み］を右クリックして、作成する CD の種類をクリックする

オーディオ CD：
CD-R/RW 対応のコンポやカーオーディオなどで再生できる CD-R を作成できます。
データ CD：
MP3 形式のまま CD-R/RW にコピーします。パソコンでは再生可能ですが、一般のオーディオ機器では再生できません。
- オーディオ CD を作成する場合、CD-R/RW の容量によって録音できるファイルの合計時間が異なります。容量と録音可能時間の目安は次のとおりです。
  - 650MBの場合 ：74分
  - 700MBの場合 ：80分

  ファイルの長さが上記の時間を超える場合は、ファイルを分割してください。

5 未使用の CD-R もしくは初期化した CD-RW をパソコンの CD-R/RW ドライブに入れる

6 コピーしたいファイルの入っているフォルダを開く
ここでは、パソコンの［マイ ドキュメント］フォルダにファイルが入っている場合を例に説明します。

7 コピーしたいファイルを Windows Media Player の［書き込みリスト］にドラッグ & ドロップする
ファイルが［書き込みリスト］に追加されます。

8 ［書き込みの開始］ボタンをクリックします。
「完了」と表示されたら、CD-R/RW へのコピーは完了です。
Windows Media Player の設定によっては、自動的に CD-R/RW ドライブのトレイが開きます。
- Windows Media Playerは、書き込み時に自動でファイルの間に 2 秒の間隔を空けます。そのため、ファイルの合計時間が記録可能時間内であっても CD が分割される場合があります。

⑲ 困ったときは

本機がパソコンに認識されない場合

次の確認作業を行ってください。
- 本機がパソコンに正しく接続されているか確認してください。
- 起動しているアプリケーションをすべて終了してください。
- 正常に動作しているマウスとキーボードだけを残し、他の USB 機器をすべて取り外してください。その状態で本機をパソコンに接続してください。
- パソコンに複数の USB 端子があるときは、それぞれの USB 端子に順に本機を接続してみてください。
- バスパワー型 USB ハブ（USB 端子分配用周辺機器）に本機を接続している場合は、USB ハブをパソコンから外し、本機をパソコンの USB 端子に直接接続してください。

故障かな？と思ったら

販売店にご相談になる前に、下記をお確かめください。直らない場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。

ボタンを押しても反応しない

原因	誤操作防止機能（ホールド機能）が設定されている。
解決方法	誤操作防止機能（ホールド機能）を解除してください。

ファイルが再生できない

原因	ファイル名が異なる。
解決方法	本機で録音したファイルをパソコンでファイル名を変更すると、マイクフォルダに戻しても再生できなくなります。規則に従ったファイル名に変更してください。

ファイルの分割ができない

原因	メモリの空き容量が足りない。または、ファイルがいっぱいである。
解決方法	MIC フォルダの最大ファイル数は 199 ファイルです。 不要なファイルを消去してください。

原因	ファイルの先頭で分割しようとしている。
解決方法	分割したいところまで再生を進めてから、分割してください。

よくあるご質問

Q：マンガン電池や充電池は使えますか?
A： マンガン電池、ニカド電池は使用できません。アルカリ乾電池のご使用をおすすめします。当社の充電池「エネループ（eneloop）」も使用できますが、アルカリ乾電池に対して電池持続時間は約 70%となります。また、電圧が異なるため、本機の電池残量表示が正しく表示されない場合があります。なお、オキシライド電池も使えますが、電池の持続時間はアルカリ乾電池の場合とほぼ同じになります。

Q：再生音にガサガサ雑音が入るのはなぜ?
A： 録音中に本体や本体を握っている手や指を動かすと、その音が録音されてしまいます。録音中はできるだけ本体を動かさないでください。また、胸ポケットに入れたまま録音する場合は、タイピン式ステレオマイク（別売）のご使用をおすすめします。

Q：録音可能時間とは 1 つのファイルごとの録音可能時間ですか?
A： いいえ違います。
各録音モードの録音可能時間とは、内蔵メモリ内に録音ファイルが何もない状態で、録音モードを変えることなく最初から最後まで録音した場合の合計時間です。例えば、1 ファイルで録音残時間がなくなるまで録音すると、それ以上は録音できません。

Q：録音内容をテープ・MD などに保存するには?
A： 市販のオーディオケーブル（ミニプラグ：3.5 φ）で、本機のステレオヘッドホン端子とテープレコーダーや MD レコーダなどの外部録音機器の外部入力端子を接続して、本機で録音したファイルを簡単にダビングして保存することができます。

Q：電話の音声を録音するには?
A： 3WAY ステレオマイク「HM-250」（別売）を使って録音できます。携帯電話や家庭用電話または、ビジネスホンなどの会話を録音するときも便利です。
電話録音の場合は、必ず「Lch マイク」を耳に入れてご使用ください。

Q：テープレコーダーやラジオ外部機器の音声を本機で録音するには?
A： 市販のオーディオケーブル（ミニプラグ）を本機のマイク端子と外部機器のヘッドホン端子に接続して録音することができます。最適な録音音量となるよう、出力側（外部機器の音量）と入力側（本機のマイク感度）の双方を調整してください。